事業者向け

平成 30 年度 12 月実施

児童発達支援・放課後等デイサービス　いろは２F 自己評価表

公表　2018 年 12 月 25 日　　討議年月日　2018 年 12 月 3 日～2018 年 12 月 15 日

		チェック項目	はい	どちらともいえない（分からない）	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		法令に遵守したスペースは確保しています。お子様が活動できる広さは確保してあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			法令で必要とされる配置数を確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	2	トイレ・洗面所は床上げされている為、段差があります。歩行困難なお子様は職員が必ず付き添い、安全の確保が出来るよう工夫しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	6			日々の申し送り、毎月の会議を通して、職員間で情報共有を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			評価表は 30 年度から保護者様にご協力いただき、イベント等がある際にも都度アンケートを配布し、業務改善に繋げています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	5		事業所のホームページ及び事業所内の掲示板にて公開致します。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			年に３回全ての事業所が集まっての研修を行い、外部で研修がある際、出来る限り参加できるよう努めています。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的(年２回)にアセスメントやモニタリングを行い、個別支援計画を作成しています。
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(シート)を使用しているか	6			標準化されたアセスメントツールを使用し、評価を行っています。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎月ケース検討会議を行い、職員間で情報共有、支援の統一を図っています。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			毎月の施設会議で目標、プログラム、イベントの話し合いを実施しています。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	5	1		週ごとの決められたプログラムに沿って、毎日の仕切り計画書を作成し、取り組んでいます。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			親御様からの最新のアセスメントと、子どもの状況を観察した上で短期・長期目標を設定し、個別支援計画を作成しています。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼・昼礼で１日の流れや役割分担、連絡事項の確認を行い、職員全体が情報共有できるよう努めています。
	⑮	その日の支援を職員間で必ず打合せをし、行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	6			その日の出来事の振り返りや話し合いを行い、職員全体で共有できるよう日報にまとめています。

	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			帳面の複写を記録として残し、支援の見直しや改善にも繋げています。

	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、作成しているか	3	3		個人懇談時、親御様や相談員様と連携を計り、個別支援計画の見直し、改善を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者が極力参加しているか	4	2		サービス担当者会議は、児童発達管理責任者、お子様と関わりのある児童指導員が参加しています。
	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			新たにお子様が来所し始める際、学校へ連絡、挨拶へ伺い、担任の先生やお迎えの場所の確認を行っています。また、必要に応じて担当者会議を行い、連絡調整を行っています。
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		必要に応じて個別の会議等を開き、情報共有と相互理解に努めています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	必要に応じて個別の会議等を開き、情報を提供できる体制を整えています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		外部で研修がある際は、極力参加しています。
	㉓	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		子ども連絡会や子ども達の担当者会議等には積極的に参加するようにし、連携を図っています。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			年に２回の個人懇談や、日々の連絡帳内容にて保護者様とお子様の状況を伝え合い、共通理解を持っています。
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	日々の連絡帳や年に２回の個人懇談で上がって来た悩みや問題点に対し、職員間で話し合い、速やかにアドバイス・助言が行えるよう努めています。
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		契約時に運営規定・支援の内容・重要事項等は丁寧に説明しています。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		保護者様から子育ての悩み等の相談をされた際、定期的にケース会議を開き迅速に対応できるよう努めています。
	㉘	様々な活動を通して(イベント等)保護者同士の連携を支援しているか	5	1		デイキャンプやお茶会（年２回）を開き、保護者様同士の連携が取れるよう努めています。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情を受けた際、職員に聞き取りをしたり、記録している書類(送迎表、身体チェック表、帳面複写、日報等)で確認をしたりして、迅速な対応が取れるよう心がけています。

	㉚	定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月に 1 度配布のお便りやホームページにて活動概要や行事予定を発信しています。
	㉛	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報関係の書類は鍵付きの棚で保管し、十分に注意を払っています。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		支援に絵カードやベビーサインを用いて、子どもとの意思疎通を図っています。また、送迎時にいろはでの様子を保護者様に伝えています。
非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		救急時、感染症マニュアルを策定し、職員に周知しています。防犯マニュアルについては、必要に応じて実施を検討していきます。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			最低でも年に２回、火災と震災を想定した避難訓練を行い、非常災害の発生に備えています。
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			社内研修や外部研修に参加したり、毎月のケース検討会議で支援の仕方について職員間で話し合ったりする機会を設け、虐待防止に努めています。
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十 分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			今現在、身体拘束が必要なお子様は在籍しておりません。今後このような状況になった際、職員間で話し合い、実際に保護者様に見て頂きご了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していきます。
	㊲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			食物アレルギーをお持ちのお子様は、保護者様から医師の指示を伺い対応させて頂いています。
	㊳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット事例集は、朝礼、昼礼の際に朗読し、職員間で共有を行っています。